

# JIS

土工機械－操縦装置及び表示用図記号－  
第2部：特定機種，作業装置及び  
附属品図記号

JIS A 8310-2 : 2019

(ISO 6405-2 : 2017)

(JCMA/JSA)

令和元年 6 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	酒井 信介	横浜国立大学
(委員)	伊藤 弘	国立研究開発法人建築研究所
	宇治 公隆	首都大学東京 (公益社団法人土木学会)
	大石 美奈子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	大瀧 雅寛	お茶の水女子大学
	奥田 慶一郎	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	奥野 麻衣子	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
	鎌田 実	東京大学
	河村 真紀子	主婦連合会
	佐伯 洋	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	椎名 武夫	千葉大学
	高田 祥三	早稲田大学
	高増 潔	東京大学
	千葉 光一	関西学院大学
	寺澤 富雄	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	長井 寿	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	長田 三紀	全国地域婦人団体連絡協議会
	奈良 広一	独立行政法人製品評価技術基盤機構
	西江 勇二	一般財団法人研友社
	福田 泰和	一般財団法人日本規格協会
	星川 安之	公益財団法人共用品推進機構
	楨 徹雄	東京都市大学
	三谷 泰久	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	棟近 雅彦	早稲田大学
	村垣 善浩	東京女子医科大学
	山内 正剛	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所
	和辻 健二	一般社団法人日本自動車工業会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 18.11.20 改正：令和元.6.20

官 報 公 示：令和元.6.20

原 案 作 成 者：一般社団法人日本建設機械施工協会

(〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 TEL 03-5776-7858)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 一般	2
5 色彩	3
6 新規図記号の作成	4
7 図記号のデジタル表示アイコンとしての適用	4
8 機械及び作業装置の共通的な図記号	4
9 スタビライザ図記号	6
10 アウトリガ図記号	8
11 クラムシェルバケット図記号	11
12 つかみ機図記号	12
13 ブルドーザ図記号	13
14 グレーダ図記号	15
15 スクレーパ図記号	18
16 ショベル系掘削機/バックホウ図記号	21
17 ショベル系掘削機フェースショベル図記号	26
18 ローダ図記号	27
19 スキッドステアローダ図記号	31
20 ダンパ（重ダンプトラック及び不整地運搬車）図記号	31
21 土工器具（リッパ及びスカリファイヤ）図記号	33
22 ウィンチ図記号	34
23 トレンチャ図記号	36
24 水平方向ドリル図記号	42
25 カウンタウェイト図記号	48
解 説	49

## まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本建設機械施工協会（JCMA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。これによって、**JIS A 8310-2:2006** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

**JIS A 8310** の規格群には、次に示す部編成がある。

**JIS A 8310-1** 第 1 部：共通図記号

**JIS A 8310-2** 第 2 部：特定機種，作業装置及び附属品図記号

# 土工機械—操縦装置及び表示用図記号—

## 第2部：特定機種，作業装置及び附属品図記号

### Earth-moving machinery— Symbols for operator controls and other displays— Part 2: Symbols for specific machines, equipment and accessories

#### 序文

この規格は、2017年に第2版として発行されたISO 6405-2を基に、技術的内容及び構成を変更することなく作成した日本工業規格である。

#### 1 適用範囲

この規格は、JIS A 8308に定義する土工機械の特定の形式についてその操縦装置及び表示用の共通図記号について規定する。

**注記1** JIS A 8310-1は多くの形式の土工機械のための図記号を対象としている。

**注記2** 土工機械に関連する国際標準化された補足的な図記号については、ISO 7000及びIEC 60417を参照することができる。

**注記3** この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 6405-2:2017, Earth-moving machinery—Symbols for operator controls and other displays—Part 2: Symbols for specific machines, equipment and accessories (IDT)

なお、対応の程度を表す記号“IDT”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“一致している”ことを示す。

#### 2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格のうちで、西暦年を付記してあるものは、記載の年の版を適用し、その後の改正版(追補を含む。)は適用しない。西暦年の付記がない引用規格は、その最新版(追補を含む。)を適用する。

**JIS A 8308** 土工機械—基本機種—用語

**注記** 対応国際規格：ISO 6165, Earth-moving machinery—Basic types—Identification and terms and definitions

**JIS A 8310-1:2019** 土工機械—操縦装置及び表示用図記号—第1部：共通図記号

**注記** 対応国際規格：ISO 6405-1:2017, Earth-moving machinery—Symbols for operator controls and other displays—Part 1: Common symbols

**JIS Z 8221-1** 機器・装置用図記号の基本原則—第1部：図記号原形の創作